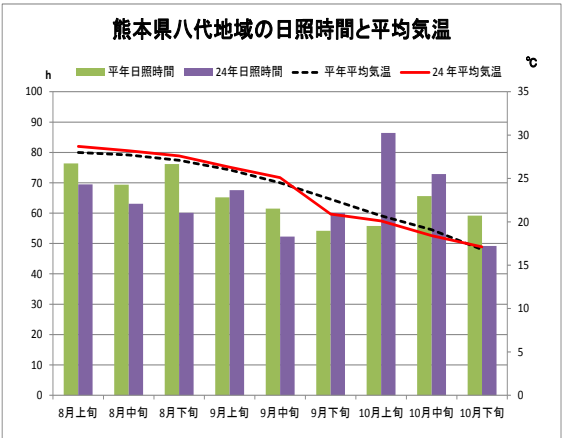
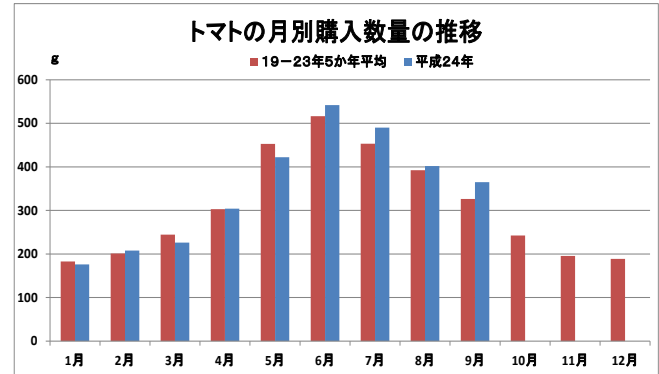
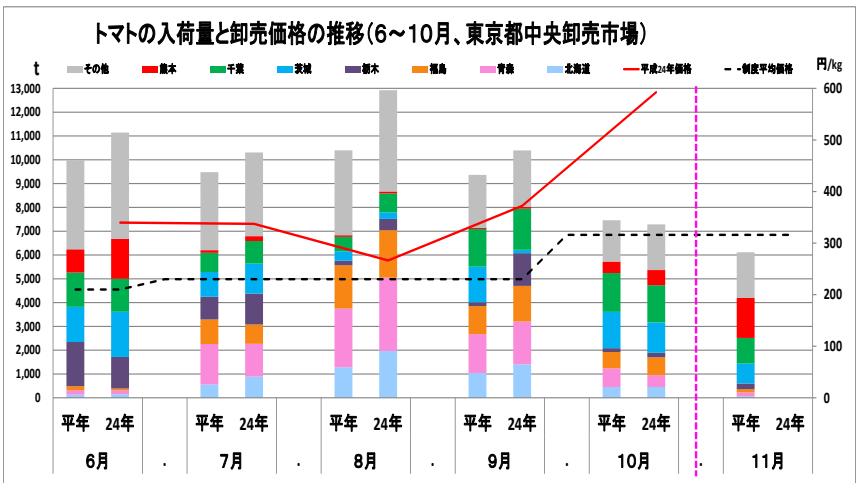


トピック ― トマトの需給状況 ―

今年のトマトの価格は、高い状況が続いている。  
6月以降の需給動向を見ると、9月にかけて入荷量が平年を上回って推移した。他方、今年に入ってトマトの機能性に関する研究成果が相次いで発表されたこともあり、根強い人気に支えられ、購入数量も過去5年平均を上回るような状況であったことから、価格は、平年を上回って推移した。

- 10月に入り、  
① 夏場の高温による影響で、青森等の東北産が早めに切りあがったこと  
② 千葉産、茨城産等の関東産が、8月の高温障害の影響で着果不良となったことから、出荷量が少なめになっていること  
等から、入荷量が平年を下回り、価格は大幅に上昇している。10月上旬の北日本が記録的な暖かさだったのをはじめ、暖かい秋で、需要が引き続き堅調と見られることも、価格上昇に寄与しているのではないかと考えられる。  
今後は、後続の熊本産が、順調な生育で、11月中旬から出荷量の増加が見込まれることから、安定した入荷量になると見込まれる。  
このため、価格は、徐々に落ち着いてくるものの、暖冬傾向が予想される中、需要は堅調さを維持すると考えられることから、平年を上回って推移する状況が続くと見込まれる。



トマトの機能性に関する最近の研究成果		
日時	内容	発表者
平成24年2月	トマトから「脂肪酸、血中中性脂肪改善に有効な健康成分を発見」との研究成果を発表。	京都大学の研究グループ
平成24年3月	「運動前または中間でのトマトジュースの摂取により運動疲労の軽減が期待できる」とを発表。	カゴメ総合研究所と鈴鹿医療科学大学薬学部の協同研究
平成24年5月	「トマトとアルコールを同時に摂取すると、血中アルコール濃度が低下させることをヒトで確認」との研究成果を発表。	アサヒグループホールディング株式会社とカゴメ株式会社の協同研究

食べてみたい話題の鍋料理の支持率 (単位：%)

話題の鍋料理	支持率
海鮮トマト鍋	70.4
日本酒しゃぶしゃぶ	66.0
ポタージュ鍋	62.2
汁なし鍋	52.5

資料：飲食店情報検索サイト「ぐるなび」の「2012年冬のトレンド鍋予報」  
(平成24年8月、20歳以上の男女1,404人に対して、話題の4種類の鍋について、どの程度食べたいかの質問への回答。支持率は、「ぜひ食べてみたい」、「まあ食べてみたい」の回答の合算。)

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。  
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html) に掲載しています。